

<2019年度 ハローオリンピック事業>  
**オリンピック教室**

**実施報告書**

**埼玉県 川越市立山田中学校**





## 「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピアンはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間（50分）



2時限目  
座学の時間（50分）



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

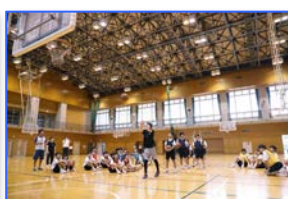
まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



# 実施内容

■期 日 : 2020年2月7日 (金)

■ク ラ ス : 2年3組 (31名)

■オリンピアン : 酒井 友之 先生 (サッカー) 【出場オリンピック/シドニー大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介後、今日は2時間の授業を通してオリンピックについて色々考えてほしいと授業の目的を確認。
- ・オリンピックバリュー(エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト)は運動の授業にもつながっているため、意識して取り組むことを約束する。
- ・準備体操として、サッカーボールを使用した5種類のウォーミングアップを実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・班対抗で、3種目(ボール送りリレー、円陣ボール運び競争、円陣ドリブルボール運び競争)を実施。(各2回ずつ)
- ・3種目ともゴールまでの順位を競う。
- ・各回終了毎に作戦タイムを設け、より早くゴールできる方法を話し合う。

## 4. まとめ



- ・座学で自身がオリンピックに出場するまでに経験したことを伝えながら、皆には運動の時間に取り組んだこと等を話し合ってもらおうと伝え、授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・映像を見せながら自己紹介。シドニー大会に出場するまでの経験がオリンピックバリューにどのように繋がっているかを伝えていくと授業の目的を確認。
- ・酒井先生の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、諦めない」、「フレンドシップ＝友情、仲間と助け合う」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝の気持ち」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：運動の時間を振り返って感じることでできたオリンピックバリューを書き出してみる。（作戦タイムで考えたこと、実践できたこと等）
- 発表：「最後まで諦めない」「チャレンジ精神を持つ」「仲間の事を考える」「全力で取り組む」(エクセレンス)  
 「皆で協力する」「友達のミスをカバーする」「声を掛け合う」「皆で腕を組んだ」(フレンドシップ)  
 「挨拶をした」「フェアプレーを心掛ける」「感謝をする」「お互いを思い合う」「声援を相手に送った」(フレンドシップ)

4. まとめ



- ・オリンピックバリューはスポーツに限らず、皆が日常生活を送る上で大切な価値観である。
- ・海外での生活を体験する中で、その国の文化や言葉を学ぶことで日本にないサッカーを知ることができた。「努力は裏切らない」とよく言うが、努力した分だけ経験値が上がり結果として表れる。また、壁が高ければ高いほど乗り越えた時に自分の力になる。皆には支えてくれる周りの人への感謝の気持ちも忘れずに、夢の実現を目指して一生懸命何事にも取り組んで欲しいと伝え、授業終了。

# 実施内容

■期 日 : 2020年2月7日 (金)

■ク ラ ス : 2年1組 (31名)、2年2組 (31名)

■オリンピアン : サイド横田 仁奈 先生 (体操/新体操) 【出場オリンピック/ロンドン大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介後、オリンピックバリューを説明し、今日のはこれまで横田先生がオリンピックを通して、感じたこと、経験したことを伝えていきたい、と授業の目的を確認。
- ・柔軟性や新体操の技を披露。
- ・準備体操として、各種ストレッチ、集団行動を実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・8の字跳び(90秒×全2回)を2班毎3チームで実施。時間内に連続して一番跳べた回数を競う。
- ・各回毎により作戦タイムを設け、多く跳ぶ為はどうしたらよいかを話し合う。
- ・最後にダブルダッチにチャレンジする。

## 4. まとめ



- ・授業の冒頭に触れた、3つのオリンピックバリューについて再度確認し、次の座学の授業では、自身の経験を踏まえて詳しく伝えていくと予告し、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・オリンピック出場を目指す中でどのような経験をしてきたかを伝えていく、と授業の目的を確認。
- ・新体操の衣装やロンドン大会の映像を見せながら新体操のルールについて解説。
- ・サイド横田先生の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、努力する、諦めない、ベストを尽くす」、「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する、チームワーク、協力、仲間」、「リスペクト＝敬意/尊重、思いやり、感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：夢や目標を叶える為にどんな事が出来るか、オリンピックバリューをどのように活かせるか考えてみる。(学校生活、部活、家庭、習い事等)
- 発表：「成績を上げるために諦めずに努力する」「志望校に入学するために諦めずにたくさん勉強する、授業を真剣に受ける」(エクセレンス)  
 「受験で合格するために解らないことを教え合う」「県大会に出場するためにチームワークを高める」(フレンドシップ)  
 「クラブチームで全国に行くために、用具や会場、相手へ感謝をする」「コンクールで金賞を獲るために上手い人のまねをする」(リスペクト)

4. まとめ



- ・横田先生は大きな目標を達成するために、常に逆算して小さな目標を立て、それを1つずつクリアした結果、オリンピック出場という夢を叶えた。
- ・皆も同様に目標から逆算し、小さな課題を克服しながら夢に向かってほしい。
- ・東京2020大会では川越市でゴルフ競技が開催される。オリンピックへの機運がますます高まる中で、出場選手について事前に調べることで、より新しい視点が生まれ、オリンピックをより楽しむことができる。そのために自ら学び東京2020大会に注目してほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真  
2年1組



2年2組





■ 集合写真  
2年3組



■ 記念品贈呈  
2年1組



2年2組



2年3組



■ 修了証贈呈

